

2018年5月

【理念】

「愛し愛される病院」

【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

ごあいさつ

青葉若葉が目に見え、初夏の香りを感じる季節となりましたが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので、平成30年度が始まり1カ月が経とうとしております。

春になり、杉並リハビリテーション病院にも、新しい仲間として新入職員12名を迎え、新たな気持ちでスタートいたしました。

診療報酬制度の改定がありましたが、取り組む事は、リハビリテーションを必要とされている患者さまに対し、質の高いリハビリテーションを提供できる病院であるよう、頑張り続けることで、根本は変わらないのだと思います。

これからも病院職員一同、「愛し愛される病院」になるべく取り組んで参りたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事務長 とみなが 富永 ともみ 智己

入職医師挨拶

今年度初めより勤務することとなりました。これまで、脳卒中発症まもない急性期の診療に携わって来ました。これからは、その先の回復期リハビリテーションにおいて、地元杉並・西荻の地で、これまでの知識と経験を生かして診療ができることにわくわくしています。

回復を手助けするプロフェッショナル集団の仲間入りを自覚して、役立てるよう努めていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。



医師 まるやま 丸山 あつこ 淳子

回復期リハビリテーション病棟の1日

～ 患者さまの在宅復帰を願い、私たちが取り組んでいること ～

6:00

起床

食事は「必ず食堂へ移動し、車いすから椅子に移ってから頂く」という事を徹底しています。また、食事が楽しい時間となる様に、患者さまの状態に合わせてテーブルの位置や席順に配慮しています。



7:30

朝食

尿意便意があるときは、その都度トイレに誘導します。また、尿意便意が分からなくても、その人の排泄パターンに合わせて時間おきにトイレ誘導します。排泄動作には、①トイレまでの移動、②トイレ内の動作（手すりにつかまり立つ⇒便座にお尻を向ける⇒ズボンの上げ下げ⇒便座に座る⇒拭き動作⇒手洗い）があります。1つ1つの動作の評価をしつつ、患者さま自身で出来る事を増やしていきます。トイレに行く回数や量の観察・記録をしています。



回診



着替え

リハビリ

排泄ケア（随時）

入浴（午前・午後に分け1人につき週2回）

12:00

昼食

入浴は、リラックスする時間です。しかし、滑り易いなど危険が伴う生活動作の1つでもあります。当院では、自宅での入浴動作が安全に行えるよう、以下の段階を踏みながら進めています。

- ①身体能力を評価し、自分で出来る事が増える様に練習を繰り返し、介助量の軽減をはかる。
- ②自宅浴槽に近い形(手すりの位置等)でセラピストと入浴動作練習をする。
- ③身体能力の向上に伴い、自ら入浴準備を行い入浴する（自立枠システム）。



リハビリ

着替え



18:00

夕食

着替えをする姿勢・服の準備は、麻痺、骨折の部位により変化します。患者さまの状態に合わせて、上着・ズボンの着脱の介助や着替えをする方法の指導を行っています。時間がかかっても自分で出来ることはしていただき、動作の見守りを行うこともあります。更に自分で服を準備出来るように環境を整え、最終的に患者さま自身で準備・着替えができる事が目標となります。



21:00

就寝

夜間のケア

～回復期リハビリテーションに求められるもの～

当院リハビリ科では“Your Smile , Our Happiness” という理念を掲げ、患者さま・ご家族が幸せになることを願って、我々は汗を流しています。

平成 30 年度は『医療保険・介護保険の同時改訂』 世に言う・・・W改定!!

以前の様に、組織・機構（Structure）だけでなく、経過・過程（Process）や成果・結果（Outcome）を重心に診療報酬は変化しました。

具体的には、短い入院期間で、多くの効果を上げ、可能な限り自宅へ戻れる様に、という事です。効果はどこで計るか、それが『FIM*¹改善率』です。

当院 2016 年度実績では、『在宅復帰率』91%(全国平均 78.6%)、『平均在院日数』は脳血管障害 84.9 日(全国平均 85.6 日)、運動器 71.2 日(全国平均 56.3 日)、『FIM 改善率』は脳血管障害 137%(全国平均 131%)、運動器 129%(全国平均 126%)^{※2)}となっており、『在宅復帰率』『FIM 改善率』は全国平均を上回る成績を実現していますが、『平均在院日数』には課題が残っています。

『平均在院日数』が長引くということは、患者さまにとって慣れない入院生活によりストレスが溜まることであり、また、ご家族にとって面会に通う負担が長く続くという事です。しかし、十分な改善をしないまま早く退院してしまえば、今度は自宅生活が思うようにできず、ストレスとなりご家族の負担は更に重くのしかかります。そこで、退院時期がその患者さま個人にとって適切であり、退院後の生活が円滑に開始できるように、という思いから、今年度より「ADL チームの発足」を行いました。

ADL チームとは、その患者さまにあった方法や練習の進め方を策定し、担当だけでなく全体へ伝えます。現在は、「着替え」を専門的に見るチームが活動を開始しています。今後は、「排泄」「食事」などの生活動作も専門的に評価し、アドバイスを行えるチームを作っていく予定です。

経過や成果が求められる時代だからこそ、当院リハビリ科は“Your Smile , Our Happiness” を理念に今後も力を合わせていきたいと思えます。

※1) FIM (日常生活動作(移動・食事・着替え・トイレ・入浴等)の介助量を表す評価) が在院期間でどこまで改善したかを表す指数

※2) () 内 全国平均は「回復期リハビリテーション病棟協会データ」より引用

リハビリテーション科 係長 みやさか 祐規 (作業療法士)

患者満足度調査アンケートより

患者さまの声



- 家屋調査は、目がいけないところを教えて頂いて良かったと思います。リハビリ総合実施計画書やアンケート用紙の文字はもっと大きくすると良いと思います。 (70代・男性・ご家族さま)
- カレーライス、マーボ豆腐、ミートソースをもっと食べたかった。 (50代・男性・患者さまご本人)
- 総合病院から貴院に転院して驚いたのは、職員各位が明るく活気に満ち満ちていた事でした。すれ違うたびに必ずと言っていいほど挨拶をされる事に驚きました。 (80代・女性・ご家族さま)
- リハビリの効果に驚いています。若いセラピストさん達が一生懸命働いている姿は気持ち良いです。貴重な経験をさせていただきました。 (60代・男性・患者さまご本人)
- 教えて頂いた事を次の施設でも実施します。すごく良い入院生活でした。 (80代・女性・ご家族さま)
- 発症後、一番元気な状態で退院できる事に感謝申し上げます。 (90代・男性・ご家族さま)

◆ 平成 30 年 1 月～4 月入院患者数と紹介元医療機関

1 月から 4 月の 4 か月間における新入院患者は 154 名、紹介元医療機関は以下の通りです。
(順不同、敬称略)

上野原市立病院、荻窪病院、河北総合病院、川崎幸病院、吉祥寺南病院、杏林大学医学部付属病院、久我山病院、
県立宮古病院（沖縄県）、公立昭和病院、国立国際医療研究センター病院、佐々総合病院、賛育会病院、品川志匠会病
院、順天堂大学医学部附属練馬病院、城西病院、聖マリアンナ医科大学病院、田中脳神経外科病院、東海大八王子
病院、東京医科大学病院、東京衛生病院、東京警察病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京女子医科大学病院、
東京通信病院、東京西徳洲会病院、東京山手メディカルセンター、東京労災病院、都立大塚病院、西東京中央総合病院、
新渡戸記念中野総合病院、練馬総合病院、練馬光が丘病院、浜田山病院、一橋病院、北信総合病院（長野県）、三鷹
中央病院、松江病院、三井記念病院、武蔵野赤十字病院、山中病院、立正佼成会附属佼成病院
他 2 か所

以上、43 か所ご紹介ありがとうございました。

～当院の現況～

	平成 30 年 2 月	平成 30 年 3 月	平成 30 年 4 月
ベッド稼働率	99.2%	99.5%	98.9%
入院延べ患者数	2,846 人	3,159 人	3,034 人

在宅復帰率（直近 3 ヶ月）…92.7%

重症患者割合（直近 6 ヶ月）…35.2%

重症患者回復病棟改善割合（直近 6 ヶ月）…51.1%

※日常生活機能評価で 10 点以上の新規患者割合
※重症患者のうち 4 点以上改善している者の割合

交通のご案内



編集後記

広報誌の作成にあたっては H27 年発行の第 22 号より編集委員メンバーを改め、お届けしている医療・介護施設やご覧いただいている皆さまに、より有意義な情報の提供に努めてきました。今号では、患者さまの在宅復帰を願って我々が日々取り組んでいることから「回復期リハビリテーション病棟の 1 日」と題してまとめました。当院スタッフの“熱い思い”を感じただけでしたら幸いです。
(編集委員)

医療法人社団 瑞心会
杉並リハビリテーション病院
内科・リハビリテーション科

- 発行 行：杉並リハビリテーション病院
- 発行責任者：門脇 親房
- 編集 集：総務課

<http://www.suginami-reha-tokyo.jp/>

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 2-5-5

TEL:03-3396-3181 (代)



Facebook でも最新情報
を配信中♪